



～ 栄えある受賞者の皆様 ～

# 夕陽

函館市支部会報

発行所  
夕陽会 函館市支部  
函館市立駒場小学校  
印刷/株島本印刷

先日、文部科学省が実施した二十八年度公立学校教職員の人事行政調査が公表されたが、うつ病などの精神疾患で二十八年度に休職した札幌市を含む道内の公立小・中学校などの教育職員は、前年度比二十八人減の二百三十五人となり、二年連続の減少傾向となった。ピーク時の二十二年以降、徐々に減少しているが、

平昌オリンピックが終わり、記憶に残った場面は男子フィギュアの羽生選手の活躍だったのでないでしょうか。逆境から這い上がり、それをばねに素晴らしいパフォーマンスが感動を招いたのだと思う。

こうした困難に打ち勝つ力、困難から立ち上がる力を「レジリエンス (resilience)」といい、「精神的回復力」「抵抗力」「復元力」「耐久力」などとも訳され、近年、心理学用語として広まってきた。「レジリエンスで逆境を乗り越え成功に導く」とか「へこんでも折れないレジリエンス思考」など、アドラー心理学やポジティブ心理学などと同じように啓発本に登場してくる。

「レジリエンス」は、いまだに明確な定義がなされていないようだが、本来は物理学用語でストレスに対する反対用語であった。ストレスは圧力・応力の意味で、力によって歪むイメージである。レジリエンスはゆがんだ形を元に戻すことをイメージした抗力の意味で、解決不能の逆境や困難、強いストレスに直面したときに適応する精神力で「逆境力」と言われることもある。



夕陽会函館市支部 副支部長 松田 賢治  
(昭和六十年卒)

## 教育職員のレジリエンス

依然として病気休職者の六割以上を占めている。年代別では四十歳から五十歳台が多くなっている。

学校では、多様で複雑な課題が次々と発生し、業務の多忙感の広がり起因するかもしれない。働き方改革が進みつつあるが、学校の実態に応じ、本当に子ども達と触れ合う時間が増え、やりがいを感じられる方策を考えていかななくてはならない。

現代のストレス社会の中で、「心が折れやすい人」は学校のみならず、増えているといわれている。子どもたちの生活の場面でも、ときどき心が折れ、「もうやってられない」「どこかに逃げたい」などと思いが停止してしまう状態が見られる。それを乗り越えていくためには、この「レジリエンス」が大切である。

過度な運動をして筋肉痛にならない人はいないように、心が折れない人はいない。しかし、回復が遅いか早いかの違いがあり、筋肉痛の回復では、休養と栄養をとるように、折れた心にも同じことが言える。

克服するポイントは、様々あるが、①自分のミスや弱さを深く認め、気持ちを手早く切り替えられる。②プライドを捨てアドバースを柔軟に受け入れる。③自分の弱さや限界を知り、誰かに頼る。④合格ラインを決め、完璧を目指さない。⑤というもののようだ。プラス思考を意識して心身ともに健康に生活していきたいものである。



卒業式シーズンに思い出す

夕陽会函館市支部顧問 風間和夫 (昭和五十七年卒)

彼女は、学級の掃除や給食準備等、何をすることも一生懸命でした。でも学校ではほとんど言葉を発することがありませんでした。周りは小学校からの付き合いでよく知っていましたから普通に接していましたが、彼女は溶け込んでいませんでした。私は赴任して毎朝玄関前で生徒とあいさつを交わすことを日課としました。彼女が登校し、「おはよう」と声を掛けました。当然ながら「おはよう」と返ってくることはありませんでした。返ってくるどころか顔も合わせることも避けられてしまいました。二年間、毎日続けましたが、最後の最後まで「おはよう」を聞くことは叶いませんでした。でも『継続は力なり』です。ある時から、ちらっと私の顔を見るようになりました。またある時からは表情も和らぎ、にこっとするようにもなっていました。

さて、彼女が卒業証書を手にする日が来ました。担任が一人ずつ名前を読み上げ、私から一人一人に証書を手渡していきましました。いよいよ彼女の番です。担任が名前を呼んだその瞬間、彼女はステージ上で会場に聞こえるような大きな声で「はい」と返事をしたのです。彼女の声を初めて聞いたと同時に涙が次から次へと溢れてきて止まらなくなっていました。授与の後の式辞も何とか声を振り絞って終えたことを記憶しています。地域や保護者からは後日『泣き虫校長』と言われる始末でしたが、「とっても温かい卒業式でしたね」と言われる

とやはり嬉しいものでした。私が母校の大学を出て、初めて中三を担任した頃は、全国的に学校荒廃や校内暴力が多発した昭和五十年代後半です。御多分に漏れず自分の学級もそうであり、いわゆる『ツツパリ生徒』に振り回される毎日でした。でも卒業式後、教室で『ツツパリ生徒』から涙ながら「先生、ありがとな」と言われると今までの苦勞が嘘のように吹っ飛んだという経験もさせてもらいました。当時の『ツツパリ』とは今でも交流しています。今年の卒業式。各学校でどんなドラマが生まれたのでしょうか。



とやはり嬉しいものでした。私が母校の大学を出て、初めて中三を担任した頃は、全国的に学校荒廃や校内暴力が多発した昭和五十年代後半です。御多分に漏れず自分の学級もそうであり、いわゆる『ツツパリ生徒』に振り回される毎日でした。でも卒業式後、教室で『ツツパリ生徒』から涙ながら「先生、ありがとな」と言われると今までの苦勞が嘘のように吹っ飛んだという経験もさせてもらいました。当時の『ツツパリ』とは今でも交流しています。今年の卒業式。各学校でどんなドラマが生まれたのでしょうか。

受賞者ご芳名一覧 (敬称略・順不同)

- |                       |                   |
|-----------------------|-------------------|
| 瑞宝双光章                 | 佐藤哲哉 (昭和23年卒)     |
| 瑞宝双光章                 | 水野良弘 (昭和25年卒)     |
| 文部科学大臣優秀教職員表彰         | 管野幸子(春静) (平成15年卒) |
| 北海道教育功績者表彰            | 山田幸俊 (昭和56年卒)     |
| 北海道教育功績者表彰            | 毛利繁和 (昭和55年卒)     |
| 北海道教育実践表彰及び渡島管内教育実践表彰 | 佐々木壮一 (平成8年卒)     |
| 函館市体育協会スポーツ功労賞        | 藤沢信弘 (昭和40年卒)     |
| 函館市文化団体協議会青麟賞         | 下山訓(邃堂) (平成4年卒)   |
| 函館音楽協会奨励賞             | 辻真紀子 (平成6年卒)      |

函館市立学校教職員表彰

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 青木完二 (昭和54年卒)  | 嶋田聡 (昭和55年卒)   |
| 荒木康博 (昭和54年卒)  | 新濱美喜子 (昭和54年卒) |
| 伊藤克美 (昭和54年卒)  | 鈴木洋美 (昭和54年卒)  |
| 市川泰子 (昭和55年卒)  | 戸澤和彦 (昭和54年卒)  |
| 金谷美也子 (昭和54年卒) | 鳴海裕 (昭和54年卒)   |
| 佐々木宏二 (昭和56年卒) | 中村吉秀 (昭和54年卒)  |
| 佐藤幸男 (昭和56年卒)  | 林弘明 (昭和55年卒)   |
| 澤田慶一 (昭和54年卒)  | 三島千春 (昭和54年卒)  |

受賞おめでとうございます

よるごびの言葉



感謝・・・多謝

藤沢 信弘  
(昭和四十年卒)

この度、函館市体育協会スポーツ功労賞の栄誉を賜り身に余る光栄と感謝を申し上げます。

昭和四十一年、手稲オリンピックプールで水泳指導員の資格を取得して以来五十二年間、多くの事を学び、多くの体験もしました。特に印象に残った事としては

○その一 海洋訓練で

八月とはいえ、肌寒い低温の海、ある大学生は、プールでの泳ぎはすばらしいが、海では全く泳げなかった。海は「生きた水」と言われ、学生は切迫観念に浸り、講師の体からみつつき、爪痕を残した。訓練終了後は温泉に直行し体を温めた。学生の命を守るために時には厳しく卒業を見送らせる心の優しい教授もいた。

○その二 はまなす国体で

平成元年、別名「六・四（ロクヨン）国体」とも言われ函館で開催された。記録主任として、松江、京都等で研修を重ね本番を迎えた。苦勞した事は、各県の監督は郷土の選手の有利さを主張し、記録員に苦情を訴へ、女性には涙ぐむ事もあった。後で監督は陳謝の気持ちで謝罪に来た。

○その三 第一回 水中ウオーキングで

平成十二年六月、市民プール主催による水中ウオーキングが十日間の日程で行われた。講師として指導内容をどうすべきか、本を読み、ビデオを見て「ずらし案」方式のカリキュラム作りに取り組み、実践を試みた。

受講者の恐怖感も徐々に消え、泳げなくても、こんな楽しい水中遊びがあるかと喜んでいただいた。

最後になりましたが、会員一人ひとりを大切にしてください。夕陽会に感謝として多謝、同窓生として、お世話になった函館市の教育充実、発展のために微力ではありますが努力をしてお礼の言葉と致します。夕陽会の益々の発展と活躍を期待しお礼の言葉と致します。



北海道教育功績者表彰  
を受賞して

山田 幸俊  
(昭和五十六年卒)

この度、平成二十九年北海道功績者表彰の栄に浴することとなりました。本当に身に余る光栄です。素晴らしい功績を残された教育関係者の方がたくさん活躍していらつしやる中、私のような者が果たして受賞してよいものかどうか戸惑いを感じました。

受賞に際しましては、藤川会長様を始め、同窓の先輩・後輩の皆様方から心温まるお祝いの言葉、励ましの言葉をいただき本当に恐縮してしまいました。十二月二十一日の表彰式では、厳肅な雰囲気の中、北海道教育長 柴田達夫様より表彰を賜りました。

振り返ってみますと、私は昭和五十六年三月に卒業し、千葉県八千代市の小学校に赴任しました。生まれて初めて函館を離れたこと、そして、初任校ということもあり、いろいろな出来事が心に残っています。もちろん、同僚には同窓の仲間など一人もいませんでした。

みんな関東の国立大学か名前を聞いたことのある私立大でした。二年間勤務し、その後、北海道の教員採用試験を受け直し、どうにか北海道の教員になることができました。函館に戻り十校で勤務しましたが、全ての学校で夕陽の先輩には大変世話になりました。夕陽会で特に心に残っていることがあります。それは、二十年前の夕陽会創立八十周年記念行事でのことです。記念事業の一つとして作られた夕陽会旗を始めて見たのは石崎小学校の校長室でした。揮毫したのが研究室の先輩である千葉軒岳先生ということもありとても感動したことを覚えていいます。

退職後におきましても、この受賞に恥じないように精進してまいりたいと思っております。夕陽会は来年初立百年という記念すべき節目の年を迎えます。夕陽会の今後益々のご発展と会員の皆様のご活躍とご多幸を心から祈念し、感謝とお礼の言葉とさせていただきます。



北海道教育功績者表彰  
を受賞して

毛利 繁和  
(昭和五十五年卒)

この度、平成二十九年北海道教育功績者表彰の栄に浴することとなり、十二月、北海道教育委員会教育長 柴田達夫様から表彰を賜りました。身に余る光栄です。これもひとえに渡島教育局、函館市教育委員会をはじめ、多くの先輩や同僚、夕陽会の皆様方のお陰と心から感謝申し上げます。

また、受賞に際しまして夕陽会会長 藤川隆様はじめ同窓の皆様方から心温まるお祝いの言葉をいただき、同窓の絆をかみしめました。ありがとうございます。

振り返ると、教職に就いて右も左も分からない頃、仕事の仕方を親身に教えてくださったのは、夕陽の諸先輩方でした。先輩方は仕事ばかりでなく社会人としての振る舞いや地域に根ざした教員の使命について丁寧に教えてくださいました。自分の教員人生を支える力を育ててくださったと今でも感謝しております。おかげさまで、その後も、数学教育や情報教育、学校運営に積極的に励むことができたと思えます。

管理職になってからも、何とか乗り切られたと思うことが多々あります。そのような局面のとき、近くで支えてくださったのは、やはり夕陽の先輩をはじめとする皆様方でした。難局に対して、マニュアルにはないニュアンスをたくさん教えていただきました。こうして勤め上げることでできたのも今回の受賞に浴することになったのもすべて皆様との絆があったればこそと振り返っております。今後ともそのご厚情に応えるべく、私自身も先輩方を見習い、教育界へエールを送り続けたいと考えております。

結びになりましたが、夕陽会の今後ますますのご発展と会員の皆様のご多幸を祈念し、感謝とお礼のご挨拶といたします。



## 感謝と絆

佐々木 壮一

(平成八年卒)

この度、北海道教育実践表彰ならびに渡島管内教育実践表彰(平成二十八年度)受賞の榮譽を得ましたことは、多くの皆様方のお力添えやご厚情によるものであり、心よりお礼と感謝を申し上げます。

現在、私は、深堀中学校で美術を担当しております。所属する函館市美術教育研究会では、研究部長として次の全道大会に向けての準備を推進しているところで、特に、最近では、函館美術館と連携して、地域資料の開発に力を注いでいます。また、次年度開催される百周年行事夕陽美術展の準備委員としても、微力ながらお手伝いさせていただきます。

さて、受賞の一報を聞いたときには、私のような浅学非才な者にとりまして身に余る光栄であり、また、恥ずかしくさびしいになりました。

ただ、昨年この榮譽ある賞にきちんと向かうことが出来たのは、当時の所属校長で夕陽会の先輩でもある岡野校長先生からのお言葉を頂戴したお陰です。

「あなたがこの賞を受賞することで、美術教育に脚光があたり情操教育の素晴らしさを世に知らしめることができるのではないか。」

まさに、自分個人の受賞では無く、美術教育全体に贈られた賜物として考えることが出来るようになりました。これも同窓の太い絆があればこそその話だと本当に感謝しております。同窓の会の絆を大切に、この受賞に恥じぬよう誠心誠意美術教育の発展のため精進していきたいとあらためて感じております。

最後になりましたが、夕陽会のみならずのご発展と会員の皆様方のご健勝とご活躍を心よりご祈念申し上げます。お礼の言葉といたします。



## 夕陽の絆よ 永遠に

嶋田 聡

(昭和五十五年卒)

この度、函館市立学校教職員表彰受賞の榮譽を賜り、身に余る光栄と感謝申し上げます。これもひとえに様々な場面で支え指導して頂いた諸先輩や同僚・後輩はもとより、保護者や子どもたち、地域の方々や教育関係者等、多くの皆様のおかげと、心よりお礼申し上げます。

昭和五十五年三月母校を卒業し、四月から八雲町立落部中学校に赴任しました。専門教科である保健体育だけでなく全学年の音楽の指導も任せられ、さらに生徒指導上の課題も多い中、自校はもとより近隣校の夕陽会の先輩方から励ましの言葉や懇切丁寧な援助をいただき、悩み苦しみながらも、何とか教職生活を続けることができました。

昭和六十年四月から自分の母校でもある附属小学校に勤務し微力ながら夕陽会庶務部員として会員のご逝去にかかる業務を担当させていただきました。夕陽会の会員の皆様の全国各地でのご活躍とネットワークの広さを目の当たりにし、改めて夕陽会という同窓の絆の強さを実感したことを覚えています。

その後、戸井町立汐首小学校を経て、教育行政に携わりましたが、全道どの地域でも夕陽会の会員の温かい絆に支えられ、十八年間の教育行政勤務を終えることができました。最後に勤務した函館市立東山小学校では素晴らしい出会いと個々がつ力を結集させることにより、教職生活を全うできたことに感謝の気持ちでいっぱいです。直接的にはわずか二年間しか函館市に貢献できなかったことが心残りですが、その分、退職後にできる限りのことをして恩返しをしたいと考えているところです。

結びになりますが、夕陽会のみならずのご発展と会員の皆様方のご健勝とご活躍を、そして永遠なる『絆』を心よりご祈念申し上げます。お礼の言葉といたします。



## 感謝を込めて

三島 千春

(昭和五十四年卒)

この度、函館市立学校教職員表彰の榮譽を賜りました。身に余る光栄に存じますとともに、これまで支えていただいた多くの皆様に心より感謝申し上げます。

教員としての第一歩を踏み出した白老町立森野小学校養護学校の義務化に伴い新設された肢体不自由児学級を任されました。学級通信は、「ガリ版」の上に乗せた半透明の原紙に鉄筆でカリカリと音をたて、障がいを抱えながらも、笑顔で学校生活を送っていた子ども顔を思い出しながら書いたものでした。この初任校での経験が、子どもに寄り添った教育の原点になっていきました。昨年の夏、車椅子で函館を訪れてくれた教え子との三十年ぶりの再会は、万感胸に迫る思いでした。

教頭職のスタートである、新ひだか町立梟舞小学校。「教頭なんて、二年か三年でいなくなる。俺たちは、ここにずっと住み続ける。この学校を、この子どもたちをもっとよくしたい。いつかこの町を離れる時があっても胸を張って行けるように。」真剣な眼差しで語っていた古老の言葉が深く心に刻まれました。いつの時代でも、どの地域でも、未来を担う子どもたちの健やかな成長を心の底から願っている。後の学校経営の根幹になるべく、「地域と共に歩む信頼される学校づくり」の大切さを肌で感じ取ることができた三年間でした。

在任期間が長かった函館市においても、多くの夕陽会員と出会いがありました。そして、縁あって、函館市支部長という大役を仰せつかりました。支部総会、受賞祝賀会、会報の発行などの業務推進に当たり、諸先輩からは温かい励ましの言葉やご助言をいただきました。また協力していただいた支部会員の皆様にも改めて感謝申し上げますとともに、百周年を目前に新たな夕陽の輪が広がることをご祈念申し上げます。お礼の言葉といたします。



夕陽の絆に感謝して

金谷 美也子

(昭和五十四年卒)

この度、函館市立学校教職員表彰受賞の榮譽を賜り、多くの皆様の支えによるものと心よりお礼と感謝を申し上げます。

また先日の祝賀会では、多くの方々からお祝いの言葉をかけていただき感無量でした。お世話になった皆様にお礼を申し上げなくてはならないのは私の方なのですが、本当にありがたく幸せに思いました。

昭和五十四年、函館市立千代田小学校を振り出しに、九校の小学校にお世話になりました。最初に担任した五年生にはすっかりなめられ、体当たりで頑張ったことも今は懐かしい思い出です。

思い起こせばいつの時代も夕陽の大きな絆に守られてきたように思います。管理職としては遅いスタートでしたが、先輩方のお姿を手本としながら、多くのことを学ばせていただきました。

特に最後の年に行われた「全日本音楽教育研究会全国大会函館・道南大会」の折には、準備段階から終了まで夕陽の皆様にご援助いただきました。

今年の冬季オリンピックでは、日本の選手たちが潔く堂々と闘っている姿に心を打たれました。世界中から技だけでなく、人格までも称賛されることに日本人としても誇らしく思います。私たちが子供たちを育てることの素晴らしさと責任を今さらながら感じているところで、退職後は、いじめや登校などの教育相談の業務に当たらせていただいております。微力ではございますが、これまでの経験を生かし、少しでも学校のお役に立てればという気持ちでおります。今後ともご指導のほどをよろしくお願いたします。

結びとなりますが、夕陽会の益々の発展と会員の皆様のご多幸を祈念し、感謝の言葉とさせていただきます。



出逢いは偶然ではなく、必然…?

鳴海 裕

(昭和五十四年卒)

この度、函館市立学校教職員表彰受賞の榮譽を賜り、身に余る光栄と感謝申し上げます。今、三十八年間の教職生活(内、教育行政六年半)を振り返る時。その時々で、様々な場面で、多くの夕陽の諸先輩、同僚・後輩との出逢いがあつたおかげと、衷心よりお礼申しあげます。昭和五十四年四月、函館市立谷地頭小学校(現在のふるる函館)で教職生活の第一歩を緊張と不安の中、踏み出しました。

当時は、しばらくぶりの初任者ということで、年齢の近かった夕陽会のT先輩に、チョークの持ち方、板書や発問の仕方などをきめ細かく指導していただきました。

特に、ガリ版の鉄筆やヤスリの使い方を懇切丁寧に教えていただき、ロウ原紙に何度も穴を開け、学級通信第一号を苦労して発行したことを思い出します。

その後、T先輩には、函館市教育委員会や函館市小学校長会で、再び出逢い、ご指導いただきました。

ある時の合同校長会議で、当時のT教育長さんが、ブリーダーの熟成年数のお話をされました。VOは約十五年、VSOは約二十年、V SOPは約三十年。教員も、ただ教職年数を重ねるだけではなく、教師として日々成長、熟成していかなければならないという内容のお話だったと記憶しています。果たして、自分は成長、熟成した教員として定年退職できたかどうか?顧みますと、三十八年前のT先輩との出逢いは、自分にとって、偶然ではなく、必然、だったように思えてなりません。

さて、退職後は、教育大4号館にある「キャンパス・コンソーシアム函館」事務局で、母校で勤務できる喜びに感謝するとともに、事務職として悪戦苦闘の毎日です。結びに、夕陽会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念し、お礼の言葉といたします。



**函館市コミュニティプラザへ  
イベントスペース用備品を寄贈**  
〈地域貢献事業〉

平成二十二年の函館奉行所開設時に車椅子を寄贈して以来、毎年継続している地域貢献事業。今年度は平成二十九年四月にオープンしました函館市コミュニティプラザ(愛称・Gスクエア)へ昨年度に続き二、三階イベントスペース用備品を寄贈した。

函館市コミュニティプラザは、次代の函館を担う若者が豊かな発想に基づいた自由な発想・企画を具現化する空間として本町地区に整備される新しい施設である。多くの市民、特に若者が気軽に立ち寄り、広く交流できる施設づくりをコンセプトに、種々のプログラムを企画・検討・実行することができる可変性の高い場を提供することで、未来のまちづくりの拠点となることを目的としている。可動式空間仕切り、演出照明器具、映像機器、防音性能などを備え、音楽、演劇、パフォーマンス等のイベントや、講演会、展示発表会などの多様なニーズに即した多目的ホールと、誰もが気軽に立ち寄ることのできるフリースペースが整備されている。有料となるが貸切で利用することもできる。

贈呈式は、三月十九日に函館市役所で行われ、宇佐美支部長から担当の谷口諭経経済部長へ目録が手渡された。函館市コミュニティプラザは、若者を中心に広く市民が利用できる施設であり、今後の活用を期待したい。

支部では、新しい時代を切り拓く人材養成をつづける母校への恩返しとして今後も、地域貢献事業を継続していく所存である。



平成29年度

**夕陽会函館市支部受賞祝賀会ならびに会員懇親会**

平成30年2月16日(金)

於フォーポイントバイシエラトン函館



# 学校・職場紹介

## 函館市立金堀小学校



本校は昭和三十一年十月に開校しました。当時は金堀川が大森浜に流れており、砂鉄が多くとれ、はまなすの群生が咲き誇っていました。また、降雨時には膝まで没するような湿地帯であったときいております。また、余り知られていませんが、昭和四十年に完成したプールは学校プール市内第一号でした。その後、平成八年（開校四十周年）に、近代建築技術の粋を結集した素晴らしい新校舎が誕生しました。

現在は、全校児童二百九名と児童数の減少は進んでいます。平成三十一年には、大森浜の磯の香り、波音、鳴の鳴き声とともに聞いた高盛小学校と千代ヶ岱小学校と本校が統合され、それぞれの歴史と伝統を融合させた新たな学校の歴史がスタートします。

統合するそれぞれの学校には、財産として百年・九十年の歴史と伝統、そして支えてきたきた地域があります。本校は、その中においても、地域とともにある学校であることが、最大の特徴だと考えております。

近年では、登下校の交通安全指導（見守り隊）をはじめ、天体に非常に詳しい地域の方に、夏休み中、二度にわたり天体観察会（「土星の輪を見よう」）をお願いしました。保護者を含め、多くの人たちが集まり、七時過ぎからどよめきが二時間近く学校のグラウンドで続きました。冬休み中には、「たこ作り」のご指導をいただき、作成後、児童ははじめてのたこ上げをしました。

また、近隣の自動車学校のご協力により、三年生を対象としたコースを使っての安全教室の実施、同じく自動車学校の校長先生に、シヨベルカーを操縦してグラウンドに大きな雪山を作っていた、児童はソリ滑りを堪能していました。

その他、函館少年刑務所と連携し、不審者対応訓練も実施しました。

今後、三校の統合に伴い校区も広くなることから、より地域と一体感を持った学校づくりを目指していきたくと考えております。

### ■会員紹介

- 校長 沢田 紀之（昭和五十九年卒）
- 教頭 加藤 一明（昭和六十年卒）
- 教諭 木村 順子（昭和五十八年卒）
- 山崎 輝美（昭和六十二年卒）
- 北村 紀子（昭和六十三年卒）
- 男山 恵（平成元年卒）
- 木村 祐司（平成三年卒）
- 半田 仁（平成三年卒）
- 奥野 千晴（平成八年卒）

## 函館市立深堀中学校



本校は函館市旧市街地の北東に位置しています。昭和三十五年、函館市立的場中学校深堀分教所として開設され、翌年には葦の葉を校章とした函館市立深堀中学校として開校しました。昭和三十八年には、書道家 金子鳴亭氏の直筆による「信愛 協調 合理 創造」の校訓屏風が寄贈され、以来、その文字の表す「精神」とともに本校の象徴となっています。

平成七年には、現校舎改築工事が完了し、校舎落成記念式典・記念祝賀会が挙行され、来る平成二十二年には開校五十年記念式典も挙行されました。また、本校校区や本校は開校以来、函館市内でも教育に関心の高い地域・学校として知られ、過去には数多くの研究大会の会場校となったり、平成七年・平成十七年には渡島管内教育実践表彰を受賞しています。平成十五年に文部科学省の指定校となるなど生徒の学力向上を目指し研鑽を

深めています。

校区は深堀町、駒場町、湯浜町、広野町、川原町、柏木町、金堀町、花園町、本通の一部と広範囲にわたっています。校区内には駒場小学校、深堀小学校、南本通小学校、柏野小学校の四校があり、高等学校も点在している学園地域となっています。

教育に対する関心の高い保護者が多く学校行事やPTA活動にも協力的です。PTA主催の「ふれあい広場」では、毎年教員と保護者が協力して、屋台コーナーや販売などを行い、本校の伝統となっています。

子どもたちは、礼儀正しく、主体的に考え行動できる生徒が大半です。日常的にしっかりとしたあいさつが交わされ、生徒会活動や学校行事、ボランティア活動等に情熱的に取組んでいます。

今年度は、全道道徳教育研究大会を本校で開催し、無事終了することが出来ました。これからも、本校の良き伝統を継承しつつ教職員一丸となって生徒のために授業改善と教育実践に挑戦する気持ちを大切にできる学校づくりを目指していきます。

### ■会員紹介

- 教頭 阿部 真之（昭和六十三年卒）
- 教諭 大和 美香子（昭和六十二年卒）
- 吉田 豊（昭和六十年卒）
- 池田 靖秋（平成二年卒）
- 小川 雅範（平成四年卒）
- 高橋 美智子（平成六年卒）
- 佐々木 壮一（平成八年卒）
- 坂本 秀幸（平成八年卒）
- 増川 貴博（平成十年卒）
- 種市 竜太（平成二十一年卒）

訃報

- 加藤 博信氏(昭和39年卒)平成29年5月9日逝去
福嶋 功氏(昭和45年卒)平成29年6月12日逝去
本間 克朗氏(昭和33年卒)平成29年5月7日逝去
佐藤 義彦氏(昭和35年卒)平成29年7月31日逝去
前田 幸吉氏(昭和27年卒)平成29年8月1日逝去
小林 武征氏(昭和41年卒)平成29年8月24日逝去
高島 貞夫氏(昭和38年卒)平成29年8月28日逝去
竹内 巖太郎氏(昭和27年卒)平成29年9月16日逝去
乳井 邦衛氏(昭和19年卒)平成29年9月22日逝去
本橋 孝一氏(昭和37年卒)平成29年9月27日逝去
中村 弘氏(昭和30年卒)平成29年10月2日逝去
柿崎 利昌氏(昭和38年卒)平成29年10月24日逝去
塩越 光春氏(昭和26年卒)平成29年10月26日逝去
染木 トミ氏(昭和28年卒)平成29年11月27日逝去
新栄 正巳氏(昭和23年卒)平成29年12月15日逝去
吉川 謙一郎氏(昭和24年卒)平成29年12月19日逝去
齊藤 正宏氏(昭和39年卒)平成30年2月1日逝去
鈴木 龍三氏(昭和24年卒)平成30年2月14日逝去

平成二十九年度 函館市支部前納会員(五十音順)

- 市川 泰子氏(昭和55年卒)
伊藤 克美氏(昭和54年卒)
岡野 伸二氏(昭和54年卒)
奥野 秀利氏(昭和54年卒)
金谷 美也子氏(昭和54年卒)
澤田 慶一氏(昭和54年卒)
嶋田 聡氏(昭和55年卒)
蛇沼 京子氏(昭和54年卒)
新濱 美喜子氏(昭和54年卒)
滝山 敏子氏(昭和54年卒)
戸澤 和彦氏(昭和54年卒)
中村 吉秀氏(昭和54年卒)
鳴海 裕氏(昭和54年卒)
三島 千春氏(昭和54年卒)
守島 佳世子氏(昭和54年卒)
渡辺 朋子氏(昭和54年卒)

平成二十九年度 夕陽会函館市支部 会務報告

- 平成29年度 新年度会員名簿作成
事務局長会議
8日(土) 支部総会
8日(火) 函館市支部幹事会および新会員、転入会員、幹事懇親会案内
5月 函館市支部管理職名簿作成
支部会報発行計画
支部別会員名簿提出
慶弔業務
11日(木) 函館市支部新会員、転入会員、幹事懇親会(ホテル法華クラブ)
11日(木) 本部総会・大懇親会案内
13日(土) 夕陽会渡島支部大懇親会・新会員歓迎会へ宇佐美支部長参加
26日(金) 第2回夕陽会本部役員会に支部長出席
会費徴収
本部総会・懇親会推進業務(本部との打合せしおり作成等)
事務局長会議
慶弔業務
第3回本部役員会 顧問・参与会に支部長出席
17日(土) 夕陽会全国支部長会議・夕陽会本部総会に支部長・幹事長出席
7月 事務局長会議
本部総会・大懇親会(ホテル函館ロイヤル)
事務局長会議
支部会報発行計画
慶弔業務
管理職採用・昇任者に寄付依頼
21日(金) 支部会報発行計画
道通に暑中見舞広告を掲載(二三支部)
9月 慶弔業務
本部会報222号移送
鶴岡会渡島支部懇親会に松田副支部長出席
事務局長会議
管理職採用・昇任者に寄付集金
20日(水) 夕陽会創立100周年記念行事
事業 第3回実行委員会に支部長出席
支部会報92号発行
事務局長会議
慶弔業務
祝賀会・会員懇親会運営計画
道通に教育の日広告を掲載(二三支部)
慶弔業務
第1回本部役員会支部長出席
8日(金) 祝賀会・会員懇親会案内状発送(受賞者、来賓、市役所、五稜支会、特別支援学校支会、会員、民間)
本部会報223号移送
事務局長会議
受賞祝賀会準備
道通に年賀広告を掲載(二三支部)
11日(木) 顧問会議案内状発送
30日(火) 夕陽会創立100周年記念行事
事業 第4回実行委員会に支部長出席
事務局長会議
支部会報発行計画
支部顧問会議
支部役員会
夕陽会渡島支部勇退者激励感謝の会に支部長出席
支部受賞祝賀会・会員懇親会(フォーポイントバイシエラトン函館)
16日(金) 新年度会員名簿作成依頼
栄進者への祝意
会計監査
3月 新年度会員名簿作成依頼
栄進者への祝意
会計監査
12月 慶弔業務
第1回本部役員会支部長出席
8日(金) 祝賀会・会員懇親会案内状発送(受賞者、来賓、市役所、五稜支会、特別支援学校支会、会員、民間)
本部会報223号移送
事務局長会議
受賞祝賀会準備
道通に年賀広告を掲載(二三支部)
11日(木) 顧問会議案内状発送
30日(火) 夕陽会創立100周年記念行事
事業 第4回実行委員会に支部長出席
事務局長会議
支部会報発行計画
支部顧問会議
支部役員会
夕陽会渡島支部勇退者激励感謝の会に支部長出席
支部受賞祝賀会・会員懇親会(フォーポイントバイシエラトン函館)
16日(金) 新年度会員名簿作成依頼
栄進者への祝意
会計監査
11月 祝賀会・会員懇親会運営計画
道通に教育の日広告を掲載(二三支部)
慶弔業務
第1回本部役員会支部長出席
8日(金) 祝賀会・会員懇親会案内状発送(受賞者、来賓、市役所、五稜支会、特別支援学校支会、会員、民間)
本部会報223号移送
事務局長会議
受賞祝賀会準備
道通に年賀広告を掲載(二三支部)
11日(木) 顧問会議案内状発送
30日(火) 夕陽会創立100周年記念行事
事業 第4回実行委員会に支部長出席
事務局長会議
支部会報発行計画
支部顧問会議
支部役員会
夕陽会渡島支部勇退者激励感謝の会に支部長出席
支部受賞祝賀会・会員懇親会(フォーポイントバイシエラトン函館)
16日(金) 新年度会員名簿作成依頼
栄進者への祝意
会計監査
10月 事務局長会議
慶弔業務
祝賀会・会員懇親会運営計画
道通に教育の日広告を掲載(二三支部)
慶弔業務
第1回本部役員会支部長出席
8日(金) 祝賀会・会員懇親会案内状発送(受賞者、来賓、市役所、五稜支会、特別支援学校支会、会員、民間)
本部会報223号移送
事務局長会議
受賞祝賀会準備
道通に年賀広告を掲載(二三支部)
11日(木) 顧問会議案内状発送
30日(火) 夕陽会創立100周年記念行事
事業 第4回実行委員会に支部長出席
事務局長会議
支部会報発行計画
支部顧問会議
支部役員会
夕陽会渡島支部勇退者激励感謝の会に支部長出席
支部受賞祝賀会・会員懇親会(フォーポイントバイシエラトン函館)
16日(金) 新年度会員名簿作成依頼
栄進者への祝意
会計監査
10月 事務局長会議
慶弔業務
祝賀会・会員懇親会運営計画
道通に教育の日広告を掲載(二三支部)
慶弔業務
第1回本部役員会支部長出席
8日(金) 祝賀会・会員懇親会案内状発送(受賞者、来賓、市役所、五稜支会、特別支援学校支会、会員、民間)
本部会報223号移送
事務局長会議
受賞祝賀会準備
道通に年賀広告を掲載(二三支部)
11日(木) 顧問会議案内状発送
30日(火) 夕陽会創立100周年記念行事
事業 第4回実行委員会に支部長出席
事務局長会議
支部会報発行計画
支部顧問会議
支部役員会
夕陽会渡島支部勇退者激励感謝の会に支部長出席
支部受賞祝賀会・会員懇親会(フォーポイントバイシエラトン函館)
16日(金) 新年度会員名簿作成依頼
栄進者への祝意
会計監査
9月 慶弔業務
本部会報222号移送
鶴岡会渡島支部懇親会に松田副支部長出席
事務局長会議
管理職採用・昇任者に寄付集金
20日(水) 夕陽会創立100周年記念行事
事業 第3回実行委員会に支部長出席
支部会報92号発行
事務局長会議
慶弔業務
祝賀会・会員懇親会運営計画
道通に教育の日広告を掲載(二三支部)
慶弔業務
第1回本部役員会支部長出席
8日(金) 祝賀会・会員懇親会案内状発送(受賞者、来賓、市役所、五稜支会、特別支援学校支会、会員、民間)
本部会報223号移送
事務局長会議
受賞祝賀会準備
道通に年賀広告を掲載(二三支部)
11日(木) 顧問会議案内状発送
30日(火) 夕陽会創立100周年記念行事
事業 第4回実行委員会に支部長出席
事務局長会議
支部会報発行計画
支部顧問会議
支部役員会
夕陽会渡島支部勇退者激励感謝の会に支部長出席
支部受賞祝賀会・会員懇親会(フォーポイントバイシエラトン函館)
16日(金) 新年度会員名簿作成依頼
栄進者への祝意
会計監査
8月 支部会報発行計画
道通に暑中見舞広告を掲載(二三支部)

退職会員の前納会員移行案内
○総会(4/7)の準備
20日(火) 支部会報93号発行
本部会報224号移送

【平成三十年度 予告】 函館市支部総会

- 日 時 四月七日(土) 午前十時
会場 北海道教育大学函館校(十四講義室)
①学校幹事は必ず出席してください。
(都合の悪い場合は代理出席も可)
②学校幹事の他に以下の会員数の出席を加えて報告してください。
○会員数九名以下の学校は、幹事の名に一名以上
○会員数十名以上の学校は、幹事の名に二名以上

夕陽会本部総会 百周年記念祝賀会(大懇親会)

- 期 日 六月二十三日(土)
会 場 ホテル函館ロイヤル
本部総会 午後三時
記念式典 午後四時十分
祝賀会 午後六時

事務局だより

支部会報第九十三号をお届けいたします。本会報の発行に際し、ご多忙な時期にもかかわらず、快く原稿をお寄せいただき誠にありがとうございます。紙面をお借りして、心より感謝申し上げます。
前納会員制度のご案内を、三月でご退職される会員の皆様にお送りしております。便利なこの制度のご利用をお勧めいたします。
(夕陽会函館市支部幹事長 近江 辰仁)